

平成25年6月21日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

「みなとへ行こう！」校外学習で中学生が名古屋港を見学しました。 ～中学生が名古屋港の歴史・貿易・産業を探検～

1. 概要

国土交通省 名古屋港湾事務所では、担当している名古屋港の施設整備の現場などについて、地域のご希望を踏まえて見学していただいています。

【平成24年度は6団体(学生(小・中・大学生)、一般)の約470名に名古屋港を案内】

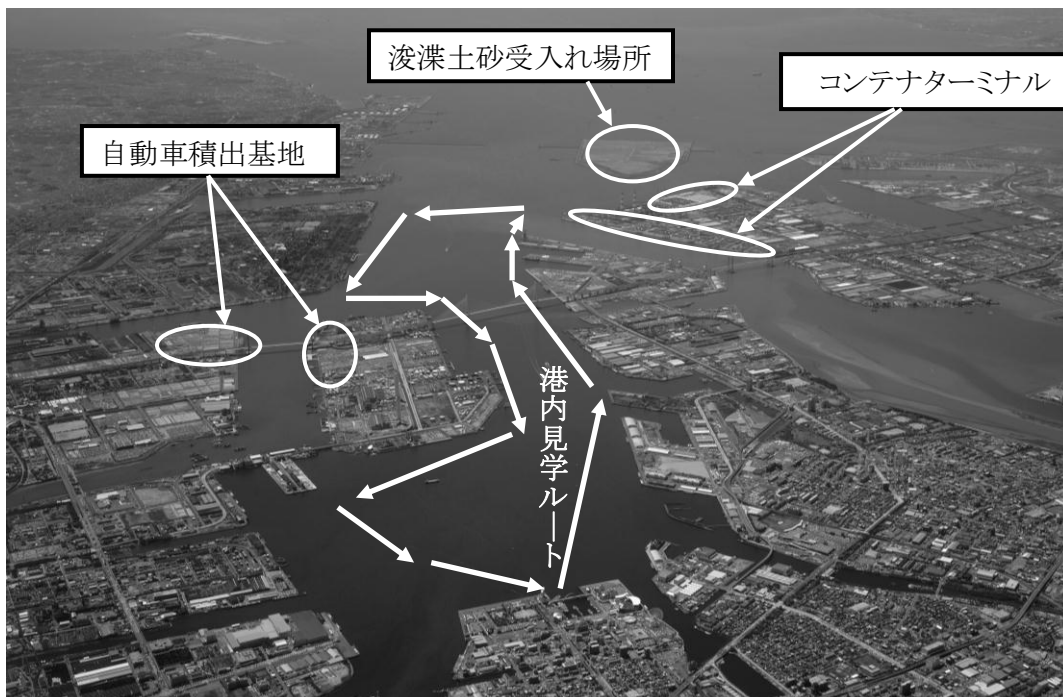
今回は、6月19日に名古屋市港区港南中学校の生徒約230名が、校外学習の一環で名古屋港の見学をしました。

普段は見るのが難しい自動車積出基地、コンテナターミナル、浚渫土砂の受入のための埋立現場などを海上から見学し、名古屋港ポートビル講堂では、名古屋港の整備の方法、歴史、役割、産業などに関する学習会を実施しました。

2. 見学場所

船上から港内見学。

○港内見学ルート



3. 視察の様子

別紙

※見学状況の写真をご希望の方は対応いたしますので、お問い合わせください。

4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、
日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 黒川(くろかわ) Tel 052-651-6763 Fax 052-652-0303

別紙

○見学の様子



港内見学にむけ船に乗船



船上から名古屋港内を見学



船内で港の施設や役割などの話を聞いている様子



見学中の質疑状況

○中学生の質問

- ・「名古屋港はいつできましたか？」や、「名古屋港で一番古い建物はなんですか？」といった港の歴史に関すること
- ・「今と昔(50年前)の貿易では、輸出入品は何がどう違いますか？」、「名古屋港の自動車取扱台数は何台ですか？」といった貿易に関すること
- ・「港をどのように掃除して、きれいに守っていますか？」といった環境への質問など

○中学生の感想

- ・身近にある名古屋港でも知らないことがたくさんあった。
- ・初めて船に乗って楽しかった。
- ・潮風が気持ちいい。
- ・(コンテナ船を見て)船、大きい！と驚きの声。